# 西高校生レポート

西高農場は、地域とともに先端技術の研究･研修、憩い、自然とのふれあいの『場』として開放しています。

## ～家畜審査競技会へ参加～

能代西高校の畜産部門では、繁殖牛３頭を飼育し、牛の飼養管理技術を学んでいます。７月18日に由利本荘市で開催された、秋田県学校農業クラブ連盟主催の家畜審査競技会に能代西高校の生徒も参加しました。この競技会は、学校の授業や農業クラブの活動をとおして得た家畜審査技術の成果を発揮することを目的に開催されています。

競技には県内の農業高校６校から36人の学生が出場し、個人ごとに成牛４頭、仔牛５頭の中から、骨格・肉付きなどの部位を観察し、優れた牛を選択しました。競技に参加した生徒は牛を触って特徴を確認するほか、牛を遠くから眺めて全体的な体型を評価するなど入念に観察していました。最後に審査員から、審査する際のポイント、各部位の美点、惜しい点などについて解説があり、生徒達はさらに理解を深めました。

昨年に引き続き、能代西高校からの上位入賞者が期待されましたが、今年は惜しくも入賞する生徒はいませんでした。来年の大会で入賞できるよう、生徒達は農業クラブ活動に励んでいきます。

←審査に集中する生徒達

←一頭一頭を厳しく審査

## ～「西風堂（せいふうどう）」開店～

→多くのお客様で賑わった「西風堂」

↑販売された能代西高校の商品

ビジネス系列で学ぶ生徒が“商い”を実践的に学ぶ場として、能代地区商店街の空き店舗を活用しチャレンジショップ「西風堂（せいふうどう）」がオープンしました。ショップの企画・運営、仕入れ交渉、販売促進活動などを生徒自ら行うことで、商品売買業の基礎を身につけることを目的としています。

７月30日、31日の２日間に渡って開催され、能代西高農場で収穫された野菜や草花、梅ロールなどのオリジナル商品、古紙を回収し再生させたオリジナルトイレットペーパーなど多くの商品を販売・ＰＲしました。販売だけでなく、地域の方々と触れ合いを深めることで、能代西高校の活動をさらに知ってもらう事ができました。